

何責任何々組合御中

住所 何業氏

名

六、(死亡)脱退申告書

一出資取得之年月日

明治 年 月 日

一出資口數

口

一出資番號

圓

一出資額

圓

一出資拂込額

圓

拙者儀右ノ通責組合へ加入致候處今般不得止事情ニ因リ脱退致度候間此段申告候也

明治何年 何月何日

住所 氏

名

何々責任何々組合御中

第五 農工銀行ニ關スル書式

定期償還借入請求書

借入金額

何 程

一借用ノ目的

何 々

一借入金使用ノ方法

何 々

一返済期限及方法

明治何年何月何日迄何ヶ月間

一事業收益ノ見込(借入金ニ對スル收支豫算)

右請求ニ對シ貸付方御取計相成度別紙關係書類相添請求候也

何郡市町村何番地

何年何月何日

借入請求者 何責任何々組合

住所

住所

住所

住所 何

某印

住所

某印

何府縣農工銀行頭取何某殿

添付書類

一組合設立許可書

一組合同定款寫

一貸借對照表

一財產目錄

一總會ノ決議錄(何縣農工銀行ヨリ金何圓ヲ利率年何割ノ割合ニテ五ヶ年以内ノ定期借入ヲ爲スコ

トヲ議決セシモノ)

一組合員名簿

一登記簿謄本

一組合員出資一覽表

一市町村長ノ證明アル理事ノ資産調書(所有地價村等級等)

一市町村長ノ證明アル印鑑證明書

第五部 名簿及帖簿類

- 一、組合員名簿様式
- 二、處務日誌ノ例
- 三、産業組合ノ記帳並帳簿様式
 - 第一、日記帖
 - 第二、口座帖(臺帖)
 - 第三、補助簿
 - 各種帖簿様式
 - 第四、決算表
 - 勘定用紙様式
 - 第五、財産目録、貸借對照表

一、組合員名簿

(産業組合登記取扱手續第五條第六條)

表

何々責任何々組合
組合員名簿

紙厚濃美紙表

裏

表紙ヲ隊キ何枚
理事何何
監事何何
申請人カ多数ナルトキハ各一人ノ署名捺印ノミヲ以テ足ル

用紙美濃紙

登記簿 番號	丁數	考備	保証金額	出資各口		出資各口		加入 ノ年 月日	明治 年 月日	住所 職業 氏名	縣	郡	町大字
				讓渡年月日	讓渡年月日	取得年月日	取得年月日						
				口	口	口	口	明治 年 月 日	明治 年 月 日				
				口	口	口	口	明治 年 月 日	明治 年 月 日				
				口	口	口	口	明治 年 月 日	明治 年 月 日				
				口	口	口	口	明治 年 月 日	明治 年 月 日				

組合員名簿

1
見出シ

一貯金利率年六分トス

一取引銀行ハ株式会社産業組合中央銀行トシ餘裕金預ケ入ヲナシ得ル個人ハ村長村野爲成トス
信用評定委員會ヲ開キ組合員ノ信用程度表ヲ作成セリ

八月十八日 臨時總會決議事項ヲ縣知事へ報告セリ金百八拾圓ヲ村野爲成ニ預ケ入ル

八月二十日 貯金函二十個購入此代金貳圓、美濃紙七十枚此代金貳拾錢證券印紙壹圓參錢切手十枚、端

書三十枚此代金七拾五錢合セテ參圓九拾五錢支出

八月廿五日 組合員太郎、二郎、三郎、四郎、五郎、六郎ヨリ秋肥料購入金各貳拾圓宛、七郎ヨリ農馬

購入資金五拾圓借用ノ申込アリ調査ノ上十二月三十日返濟、保證人連帶ノ契約ヲ以テ現金ニテ貸渡ス

村野爲成ヨリ百八拾圓ヲ引出シ利息拾壹錢ト共ニ受入ル八郎、九郎、十郎、十一郎ヨリ各壹圓宛十二

郎、十五郎ヨリ各參圓ノ貯金ヲ受入ル

九月一日 十三郎、十四郎ニ十二月返濟ノ約束ニテ農具購入資金拾圓宛貸付ク

九月八日 十五郎ヨリ開墾資金百圓借用申込アリ村野爲成ヨリ百圓ヲ借入レ貸與ス(期限明年十二月)

九月十四日 二十郎氏死亡ニ付組合長會葬ス

九月十五日 故二十郎氏嗣子二十一郎加入申込ニ付左ノ書面ヲ以テ異議ノ有無組合員へ照會シタリ

總組合員ノ同意ヲ求ムル書式

今回二十郎氏死亡被致嗣子二十一郎氏加入ヲ申込マレ候ニ付御賛否本月二十五日迄ニ御申込被下度
若シ同期日迄ニ賛否御申込無之方ハ同意ト相認候間右様御承知被下度候頓首

無限責任至誠信用組合

組合長 國 尾 思

九月 日 何 某 殿

九月廿六日 太郎ヨリ二十一郎加入賛成ノ旨回答アリ他ノ組合員ヨリハ回答ナキニ依リ凡テ同意ト見做

シ組合員名簿記載變更ノ申請ヲナス即日結了

九月廿九日 十二郎貯金參圓ヲ拂戻ス

十七郎加入申込アリ總組合員ノ承諾ヲ經出資十口第一回拂込アリタルニ付組合員名簿記載變更ノ登記

申請ヲナス即日結了

十月六日 縣屬民野友氏組合検査トシテ來着ニ付證書類諸帳簿等ヲ提出シテ檢閲ヲ受ケタリ本日組合

ノ運用其他ニ付同縣屬ノ講話ヲ請フ爲組合員一同へ通知セリ午後七時開會來會者村長校長組合員等ニ

シテ百餘名ニ達シ午後十時閉會セリ

十月十三日 組合員太郎、二郎、三郎、四郎、五郎、六郎ヨリ各壹圓貳拾錢宛貯金

十月二十日 十八郎役牛購入ノ爲金四拾圓借用申込ム返濟期十二月ノ約束ニテ貸渡ス

組合長國尾思ヨリ貯金貳拾圓アリタリ

十月廿七日 二十一郎ヨリ農具購入金貳拾圓借用ノ申込アリ貸與ス期限明年四月三十日

十二月八日 太郎、二郎、三郎、四郎、五郎、六郎、七郎各元金并ニ利子ヲ納付ス元金百七拾圓利息六

圓八拾錢

十二月十八日 十七郎ニ堆肥場製造費及蠶具購入資金參拾圓貸付ク期限明年十二月二十五日

百拾圓中央銀行當座預金トス

十二月廿五日 八郎外四名へ貯金利子四拾壹錢貳厘現金ニテ支拂フヘキ處直ニ貯金へ繰替預入ノ旨申出

ニ付振替記帳セリ

十三郎、十四郎ヨリ元金貳拾圓并ニ利子六拾錢ヲ皆納ス村野爲成ニ金百圓返金利子壹圓五拾六錢ヲ支

拂フ

十八郎ヨリ返金四拾圓及利子八拾錢受入ル
十二月卅一日 中央銀行ヨリ利子拾貳錢受取ル

來一月十日通常總會ヲ開キ左記ノ件審議スヘキ旨組合員ヘ通知セリ

イ、第一年度財産目録、貸借對照表、事業報告書剩餘金處分案承認ノ件

ロ、第二年度借入最高額及一組合員ニ貸付シ得ル最高額決議ノ件

ハ、貸付利子並貯金利子決議ノ件

ニ、理事、監事、信用評定委員改選ノ件

來一月三日財産目録、貸借對照表、事業報告書ヲ監事ニ提示スヘキ旨監事三名ヘ通知セリ

諸帳簿印章器具減價七拾錢書籍四冊減價參拾錢償却ス

無限責任至誠信用組合處務日誌

第二一年度

一月三日 財産目録、貸借對照表、事業報告書其他帳簿類ヲ監事ニ提示シ且ツ組合事務所ニ備工閱覽ニ供ス

一月十日 第一回通常總會ヲ開ク、出席者代理人ヲ合セ十八人議決ノ事項左ノ如シ

(イ) 初年度事業報告書、財産目録、貸借對照表、剩餘金處分案ヲ承認セリ

(ロ) 本組合三十八年度ニ於テ組合ヘ借入ヲ爲シ得ヘキ最高金額ヲ五百圓トシ事業ノ必要ニ應シ隨時借入ル、モノトス

本組合ハ三十八年度ニ於テ一組合員ニ對シ貸付ヲ爲ス事ヲ得ヘキ最高金額ヲ百圓トス

(ハ) 貸付利子ハ年一割三分

貯金利子ハ年六分五厘

(ニ) 理事、監事、信用評定委員ヲ改選セシ結果凡テ重任ニ決セリ
即日官廳ニ左ノ通報告ス

報告書式(第四部第二參照)

一月十一日 出資第二回拂込百拾八圓也(十六郎懈怠)

帳簿二冊此代金六拾錢。郵便切手參錢二十枚、端書五十枚、往復葉書二枚、此代金壹圓四拾壹錢。筆五本、美濃紙百枚、半紙十帳、卷紙二本、此代金八拾錢。貯金箱五個此代金五拾錢。圖書二冊金參圓雜誌金貳圓。合計八圓參拾壹錢ヲ支拂フ
貸付金左ノ如シ

種目	金高	返濟期	人名
桑田開墾費	金五拾圓	八月	太郎
炭燒資本金	金參拾圓	四月	二郎
同	同	同	八郎
同	同	同	十郎
同	同	同	十四郎
同	同	同	十三郎
合計金	百七拾圓		

中央銀行ヨリ金六拾圓引出ス

一月十八日 牧馬購入資金トシテ十九郎ヨリ金貳拾圓借用申込ム十二月期限トシ貸付
三郎、四郎、五郎、八郎、十郎ヨリ金壹圓宛尾國忠ヨリ金拾五圓貯金
十六郎ヨリ遅延第二回出資金貳圓、過怠金貳錢拂込ム
即日組合員名簿變更ノ登記ヲナス

一月廿五日 二郎、七郎、九郎、十一郎金貳圓宛貯金
 三月廿九日 二郎、三郎、四郎、五郎、六郎、七郎、八郎、九郎、十郎、十一郎ヨリ肥料購入資金參拾圓宛借用ヲ申込ム
 十二月返納ノ約束ニテ貸付
 中央銀行ヨリ金五拾圓引出シ更ニ金貳百五拾圓ヲ定期十二月廿五日限り返納ノ約ニテ借入ル
 四月十二日 二十一日ヨリ元金貳拾圓利子壹圓四拾錢受取ル
 肥料購買資金トシテ金四拾圓ヲ十二月返納ノ約束ニテ二十一日ニ貸付ク
 村野爲成ヨリ金拾圓借入ル利率月八厘
 四月廿六日 十二郎、十三郎、十四郎、十八郎ヨリ各元金參拾圓利子壹圓貳拾錢宛受入ル
 肥料資金トシテ十二郎、十三郎、十四郎、十八郎ニ對シ各參拾圓ヲ十二月期限ニテ貸與
 六月七日 十六郎北海道移住ノ爲脱退豫告
 六月十四日 國尾忠ヨリ貳拾圓次郎、三郎、四郎、五郎、六郎ヨリ金貳圓宛十一郎、十三郎、十四郎、十九郎、二十一郎ヨリ壹圓宛貯金
 八月廿五日 太郎ヨリ元金五拾圓利子金四圓ヲ受入ル
 肥料資金トシテ太郎ニ參拾圓、二郎、三郎、四郎、五郎、六郎、七郎、八郎、九郎、十郎、十一郎、十二郎、十三郎、十四郎、十八郎、十七郎、十九郎、二十一郎ニ拾圓宛十二月返納ノ約束ニテ貸付ル
 野爲成ヨリ金百四拾圓借利率月八厘
 九月二十日 石戸正直、金部謹吉兩氏加入ヲ申込ム、總組合員ノ同意ヲ經テ(書式前年度九月十五日ノ部參看)承諾ス出資口數各五
 九月廿七日 半箋紙二百枚購入金二十錢

十月三日 圖書一掛代價參圓購入
 十二月十八日 左ノ通返金アリタリ

元	金	利	子
十九郎	參拾圓	貳圓九拾錢	
太郎	參拾圓	貳圓五拾錢	
十七郎	四拾圓	四圓四拾錢	
十五郎	百圓	拾六圓	
二十一郎	五拾圓	四圓拾錢	

全日 金貳百五拾五圓ヲ中央銀行ニ預ケ入ル
 十二月廿五日 二郎、三郎、四郎、五郎、六郎、七郎、八郎、九郎、十郎、十一郎、十二郎、十三郎、十四郎、十八郎各元金四拾圓利子參圓五拾錢宛返納ス
 三郎ヨリ明年十二月ノ期限ニテ桑田開墾費五拾圓ノ借用ヲ申込ム、貸與
 十二郎、十三郎、十四郎、十五郎、十八郎ニ炭燒資本五拾圓宛貸與合セテ金貳百五拾圓
 中央銀行ニ借入金貳百五拾圓及利息拾貳圓拾貳錢貳厘ヲ支拂ヒ并ニ預金利子四拾參錢壹厘ヲ受取ル
 村野爲成ニ對シ元金百五拾圓并ニ利息參圓貳拾四錢ヲ支拂フ
 十二月卅一日 圖書備品消却費壹圓貳拾錢ヲ支出ス
 貯金利子貳圓五拾九錢ヲ各自貯金ニ振換ユ
 十六郎ニ對シ出資六圓ヲ拂戻ス

三、産業組合ノ記帳並帳簿様式

組合理事ノ主要ナル事務ノ一ハ帳簿ノ整理ナリトス、我商法第二十五條ニ

商人ハ帳簿ヲ備ヘ之ニ日々ノ取引其他財産ニ影響ヲ及ホスヘキ一切ノ事項ヲ整然且ツ明瞭ニ記載スルコトヲ要ス

此ノ如ク重要ナルモノナルカ故ニ其ノ様式ノ如何ハ實ニ組合發達上至要ナル關係ヲ有ス、帳簿様式ノ研究ハ組合獎勵ノ任ニ當ル者モ輕々ニ看過スル能ハサルモノトス

組合ノ帳簿ハ商人ノ帳簿ト大ニ趣ヲ異ニス

第一、簡易且ツ了解シ易キヲ要ス

之レ組合理事ノ多クハ商業上ノ經驗少ナク、簿記ニ關スル智識少キヲ常トス、此等ノ理事ヲシテ容易ニ記述セシムル爲ニハ簡單且ツ記入ニ煩雜ナラサルヲ可トス

第二、明瞭ニシテ檢閲ニ便ナルヲ要ス

組合ノ情况一目瞭然タル様ニスヘシ、以テ組合員其他ノ閱覽者カ何時ニテモ業務ノ情况ヲ視察シ得ルニ便ナラシムルニアリ

第三、ナルヘク各府縣郡村ヲ通シテ様式ヲ一定シ、監督者ノ閱覽ニ便ナルヲ要ス

組合所要ノ帳簿ノ種類左ノ如シ

- 一、日記帳
- 二、口座帳
- 三、補助簿
- 四、決算表

第一、日記帳

日記帳記帳方法ニ二種アリ

第一ハ一冊ノ帳簿内ニ支出并ニ收入ヲ併記スルモノ

第二ハ帳簿ヲ二冊トシ、一ハ支出ノミ他ハ收入ノミヲ記載スルモノ

第二ノ方法ヲ取ル方種々ノ利益アリ、夫レ帳簿ノ記載ヲ明瞭ナラシムル爲ニハ、記述事項ヲ細別スルヲ要ス、從テ記載ノ項目増加ス、然ルニ第一ノ方法ニ依リ一頁内ニ支出收入ヲ併記スル時ハ、取扱上不便ナルヲ免レス、故ニ支出收入ヲ別冊ト爲シ支出簿、收入簿ヲ更ニ支出收入ノ種類ニ從ヒ欄ヲ別チ、事故アル毎ニ相當欄ニ記入スルヲ便トス、同シ理屈ニヨツテ一事業年度毎ニ日記帳ヲ新ニスルヲ可トス

日記帳ノ項目ヲ各種組合ニ涉リ、收入、支出帳ニ分チ列舉スレハ左ノ如シ

- 一、信用組合收入日記帳ノ欄別(欄別ハ此ノ區別ニ據ラサルコトヲ得)
 - 一、月 日
 - 二、口座 名
 - 三、口座帳丁數
 - 四、借入 金
 - 五、預ケ金ノ引出
 - 六、出 資
 - 七、準備金(加入金、過怠金、持分拂戻殘高等ヲモ此中ニ記入シヘシ)
 - 八、積立 金
 - 九、貯 金
 - 十、貸付金ノ返納
 - 十一、利子(貸付金及預ケ金ニ對シ拂込マレタル)
 - 十二、雜 收 入
 - 十三、合 計
 - 十四、支出日記帳トノ差引殘
- 二、信用組合以外ノ組合收入日記帳ノ欄別
 - 一ヨリ八至ル迄ノ欄ハ信用組合ニ同シ

九、販賣、購買組合ニ在テハ販賣代金、生産組合ニアツテハ加工料使用料又ハ實費

購買組合ニ於テハ豫納金

十、販賣組合ニ在テハ假渡金ニ對スル利子

購買組合ニ在テハ懸賣代金ニ對スル利子

生産組合ニ在テハ未納加工料使用料又ハ實費ニ對スル利息

十一、雜 收 入 十二、合 計

十三、支出日記帳トノ差引殘

三、信用組合支出日記帳ノ欄別

一、月 日 二、口 座 名

三、口座帳丁數 四、借入金ノ返却

五、預 金 六、出資ノ拂戻

七、準備金積立金ノ支拂 八、貯金ノ拂戻

九、貸 付 金 十、備 品

十一、利子(貯金及借入金ニ對シ支拂タル利子額ナリ)

十二、俸 給 旅 費 十三、雜 支 出(通信運搬費ノ欄ヲ設クルモ可ナリ)

十四、合 計

四、信用組合以外ノ組合支出日記帳ノ欄別

一ヨリ七ニ至ル欄別及備品欄ハ信用組合ニ同シ

九、購買、生産組合ニ在テハ購入品代金ノ支拂

販賣組合ニアリテハ假渡金又ハ組合員生産物ノ代價ノ支拂

十、購買組合ニアリテハ豫納金ニ對シ支拂タル利子

購買販賣生産組合ニアリテハ組合借入金ニ對スル利息

十一ヨリ十三ニ至ル迄ハ信用組合支出日記帳ノ欄別十二ヨリ十四ニ同シ

日記帳ハ毎月末ニ小計ヲシ、理事并ニ検査人ノ檢印ヲナスヘシ、各月ノ結算ヲ總計シテ數ヶ月又ハ一事業年度ノ結算ヲ得ヘシ

年末ノ結算ニ就テハ信用組合ニ在ツテハ兩帳簿ヨリ利息、俸給、旅費、雜收入、雜支出ヲ除キ、其他ノ收入支出ヲ合計スヘシ之レ即チ事業部ノ取引總高ナリ、次ニ組合ノ損失ヲ受ケシカ又ハ利益ヲ得タルヤヲ決定スルニハ利息、俸給、旅費、雜支出、雜收入ノ多寡ニヨルモノトス、此等ハ收入日記帳ニ於テハ業務ノ收入ト爲リ、支出日記帳ニ於テハ業務ノ支出トナルモノナリ、兩者ノ合計ハ總損金、總益金トナルユヘ、差引シタルモノ即チ剩餘金又ハ損失ナリ、理事ハ年末ノ利益ヲ多クスル爲信用組合ニ在ツテハ

(一) 組合ニアル遊金ノ高多カラサルコトヲ務ムヘシ

(二) 成ルヘク組合ノ資金ヲ高利ニ運轉スヘシ、其利率ハ農村普通ノ貸借ヨリモ稍低率ナルコトヲ要ス

(三) 出費、加入金、貯金等ハナルヘク貸付金ニ當ツヘシ、換言セハ確實ナル期限付ニテ高利ニ運轉スル事ヲ勉ムヘシ

販賣、購買、生産資組合ニアリテハ

事業部ノ取引高ハ收入支出共ニ日記帳一ヨリ九ニ至ルモノヲ合計シテ之ヲ得ヘク(備品費ヲ除ク)

組合ノ損益ハ收入日記帳ニ在テハ九ヨリ十一ニ至ル收入ヲ以テ總益金ト爲シ、支出日記帳ニ在テハ九

ヨリ十二ニ至ル支出ヲ以テ總損金ト爲シ、總益金ヨリ總損金ヲ差引キ、殘金アレハ剩餘金ト稱シ、若

シ反對ニ總損金、總益金ヲ超過スレハ損失トナルナリ、故ニ事業部ノ取引高ト損益トノ合計ハ組合總

收入總支出ト合致セサルナリ

第二、口座帳

日記帳ニ記入シタル事項ハ凡テ口座帳ニ漏ナク記載スルヲ要ス、口座帳ハ何時ニテモ組合ト取引アルモノ各自ノ債權債務ノ關係ヲ知悉シ得ル様記入スル帖簿ナリ、此目的ヲ達スル爲メ、口座帖ニハ債權者、債務者并ニ組合員一名毎ニ一葉宛ノ頁ヲ充ツ、之ヲ口座ト云フ
口座ハ左ノ諸欄ヲ備ユヘシ

- 一、月 日
- 二、事由
- 三、貸方
- 四、借方

五、備考

借方ニハ凡テ組合ヨリ支出サレタル金額ヲ記入シ、貸方ニハ凡テ組合ニ向ヒ收入サレタル金額ヲ記入ス、利子并ニ手数料等ニシテ現金ヲ以テ支出サレ又ハ收入シタルモノモ亦貸借關係中ニ記入スルヲ要ス、儲テ個人ナリ又ハ団体ナリ、組合ト取引關係ヲ生シタル時ニハ其モノニ向ヒ一頁ナリ半頁ナリ口座ヲ開設シ、其氏名ヲ記入ス、故ニ日記帖ニ依リテ組合ノ債權債務ノ總高ヲ知り得ヘク、口座帖ニ依リテ各組合員其他組合ト取引シタル各個銘々ノ債權債務ノ高ヲ知り得、故ニ組合ト取引セシ者ハ口座帖ヲ見テ自己トノ取引關係ヲ一々知悉スルノ利益アリ、儲テ組合カ借入金、出資金、貯金ヲ受取り銀行又ハ組合員等ヨリ金錢ヲ受ケタルトキ、換言セハ日記帳ニ於テ收入簿ニ記載セラレタル項目ハ凡テ組合ニ取ツテハ受方乃チ債務ナリ、同シ道理ニ依リ貸付金及ヒ未納金ノ返済アルトキモ亦債務トナル、凡テ此等ノ事項ハ日記帖ノ債務ニ屬スヘキモノナルカ、口座帳ニ於テ貸方欄ニ記入セラル

之ニ反シ銀行又ハ組合員トノ取引上組合カ支出シタル金、資金ノ貸付、未済金ノ支拂、借入金ノ償却、出資金及貯金ノ拂戻等ハ働キ方乃チ組合ノ債權ニ屬スルモノナルガ、口座帖ニ於テハ借方ニ記載スヘキ

モノトス

年度末、月末又ハ何時計算ヲナストモ各口座ノ貸借兩欄ヲ通シテ合計スレハ其貸方欄ノ合計ハ收入日記帖ノ合計ニ符合シ、口座帳借方欄ノ合計ハ支出日記帖ノ合計ト全ク符合スヘシ、符合セサル時ハ記帳カ又ハ計算ニ誤謬アリシ證據ナリ、以テ檢閲ニ便ス

銀行ト取引アル組合ニ於テハ、銀行ハ六ヶ月毎ニ決算ヲナス例ナレハ、組合ニ於テモ豫メ計算ヲ爲シ置クヲ要ス

一年ノ終末ニ至レハ貸借双方ヲ合計差引シ其超過高ヲ確定スヘシ、而シテ貸方ノ口座ニ於ケル超過額ハ組合ノ借方トナリ、借方ノ口座ニ於ケル超過額ハ組合ノ貸方トナルナリ、何トナレハ貸方ニ掲ケラレタル金額ハ組合ヨリ返納スヘキ金額ナルヲ以テ債務ニ屬スヘク、之ニ反シ口座帖ニ於ケル借方ノ超過高ハ未タ債務者ヨリ返納ヲ了セス、早晚組合資産トナルモノナレハ債權ニ屬スヘキモノナリ、累年度貸借兩欄ノ差ヲ合計々算スレハ組合ノ債權債務ノ額ヲ知り得ヘシ、更ニ之ヲ口座帳ニ記入スルハ當リテハ貸方ノ超過高ハ貸方トナリ、借方ノ超過高ハ借方トナルコト言ヲ待タサルヘシ
口座帖ニ記載スル能ハス別種ノ帖簿ヲ要スルモノハ貯金臺帳ナリ、貯金臺帳ハ貯金ヲ爲セシ人毎ニ口座ヲ設ケ、各人ニ渡シタル貯金通帳ト對照シテ記入ス、年度末毎ニ受入額ヨリ拂戻額ヲ差引キ、次年度ノ繰越トナス

第三、補助簿

組合ニ於テ各組合員ノ出資及持分ヲ明瞭ニスル爲出資臺帳持分臺帳ヲ作ルヘシ
貯金者各個ニ貯金通帳ヲ渡スヘク、組合ト貸借關係ヲ有スル組合員ノ爲ニ貸付金臺帳、并ニ組合ノ借入金ヲ記載スヘキ借入金臺帳ヲ準備スヘシ、又組合員ノ出資ヲ證スル爲出資券ヲ作ルヘシ
各年度末ニ債務一覽表ヲ作ルヘク、備品臺帳、消耗品臺帳モ亦必要ナリトス

信用組合以外ノ組合ニ要スル帳簿左ノ如シ
 販賣組合ニ於テハ受入帳ト販賣帳トヲ要ス、前者ハ組合員ヨリ其ノ生産物ヲ受取リタル毎ニ其數量品等ヲ記入シ若シ假渡金ヲ爲シタル時ハ其金高ヲ記入スヘシ
 次ニ組合ハ組合員ノ出品シタル物品一種毎ニ口座ヲ設ケ、其賣却アリタル都度記入スヘキ販賣帳ヲ備ユヘシ

購買組合ニ在テハ購入品ノ種類毎ニ口座ヲ設ケ、購入アリタル都度購入先、數量、原價并ニ其單價、市價ヲ記入シ及ヒ物品代金ノ支拂アリタルヤ否ヤ、若シ懸賣ナレハ其利率等ヲ記入シ置クヘシ
 原價トハ其物品ノ仕入價格ニ運賃、手数料ヲ加算シタルモノナリ、之ヲ數量ニテ除シタルモノヲ單價トス、此ノ單價ハ市價ト異ナレリ、購買組合ニ於テ物品賣却ノ價格ヲ定ムル方法ハ曩キニ第一篇第六章ニ述ヘタル所ナリ、若シ市價ヲ以テ賣却セント欲スル場合ニハ單價ノ下ニ市價ノ一欄ヲ設ケ置キ相對照セシムヘシ、折衷式(日本式)ニ依レハ原價ノ外、別ニ適當ノ利益ヲ加算シテ後單價ヲ定メ原價單價ノ下ニ記入シテ相對照セシムヘシ
 賣却帳ハ購買品各種毎ニ口座ヲ設ケ品名、數量、代價、事由、代金、組合員氏名、皆納月日ノ欄別ヲ設クヘシ
 生産組合中加工組合ニ在テハ組合員ノ生産物一種毎ニ口座ヲ設ケ、品名、數量、返付月日、加工料及其收入期日、氏名、備考欄ヲ具ユヘシ、備考欄ニハ加工料延納アリタルトキ利息ノ納入又ハ組合ニ於テ生産物ヲ毀損シタル時ハ其ノ賠償金ノ支拂等ニ關スル事項ヲ記入ス
 使用組合ニ在テハ使用スルモノ一種毎ニ口座ヲ設ケ、使用ノ始期、終期及ヒ期間、使用料其收納月日、モノ、數量、組合員氏名并ニ備考欄ヲ設クヘシ
 凡テ各帳簿ニハ氏名ノ索引又ハ物品ノ見出シヲ附シ記帳并ニ檢閲ヲ便ニス

各帳簿終尾ニ月計表ヲ附シ月末ニ至リテ購買、販賣又ハ加工、使用シタル品名、數量、代金等ヲ計算シ、備考欄ニハ參考トスヘキ事項ヲ記入シ理事、委員檢印ヲ捺押スヘシ、月計表ヲ合計スレハ何時ニテモ累計ヲ得ヘシ

兼業組合ノ帳簿

日記帳ニ就テハ各組合ニ特種ナル各欄ヲ併置スヘシ、其他ノ帳簿ハ前記各種ノ組合ニ必要ナル各別ノ帳簿ヲ作り、區別シテ記入スヘシ、例ヘハ信用組合ト購買組合トヲ兼タル場合ニ於テハ日記帳ニ於テハ信用組合ノ收入日記帳ニ於ケル各欄ヲ設ケル外購買物品代金ノ收入、豫納金ノ收入、懸賣代金ニ對スル利子ノ三欄ヲ増設ス、此利子ハ信用組合ニ於ケル利子收入ト區別シ置クヘシ
 支出日記帳ニ於テハ入購品代金ノ支拂、豫納金ニ對シ支拂ヒタル利子ノ二欄ヲ増設ス
 借入金ニ就テハ兼業組合ニ於テモ各事業ニ付キ分割スルヲ要セス、故ニ其ノ利子支拂ニ就テモ分割スルヲ要セサルナリ、去レハ帳簿ノ種類左ノ如シ

第一、日記帳	各種ノ組合
第二、口座帳	同上
第三、出資臺帳	同上
附、出資總額表並出資拂込額表	
第四、持分臺帳	信用購買組合ノ例
第五、借入金臺帳	各種ノ組合
附、借入金現在高表	
第六、備品臺帳	同上
第七、消耗品臺帳	同上

第八、貸付金臺帳 信用組合
 附、貸付金現在表
 第九、貯金臺帳 同上
 第十、受入帳 販賣組合
 附、月計表
 第十一、販賣帳 同上
 附、月計表
 第十二、購買帳 購買組合
 附、月計表
 第十三、賣却帳 同上
 附、月計表
 第十四、加工帳 生産組合
 附、月計表
 第十五、使用帳 同上
 附、月計表
 第十六、貯金通帳
 今茲ニ日記帳、口座帳及各種帳簿ノ雛形ヲ示シ且ツ前述信用組合處務日誌ニ示シタル事業ニ付各帳簿
 ニ記載シタル例ヲ示スヘシ
 第一、日記帳 (各種ノ組合)

◎収入日記帳 (一年度)

月日	口座名	口座帖 丁数	借入金 ノ入金	預金 ノ引出	出資	準備金	積立金	貯金	貸金ノ 返納	利子	雑収入	合計	支出日記 帖下ノ差
八二	國尾 外十一名							10000				10000	10000
ク	八村野爲成 外五名							10000				10000	10000
九	元十七郎							10000				10000	10000
一〇	三太 外五名							10000				10000	10000
一〇	三國尾 思							10000				10000	10000
一〇	三此日ハ收入ナシト雖支出アリタル場合												
一〇	三太 外六名							10000				10000	10000
ク	六八							10000				10000	10000
ク	三外四名							10000				10000	10000
ク	三外一名							10000				10000	10000
ク	三外一名							10000				10000	10000
ク	三中央銀行							10000				10000	10000
ク	三備品ノ償却							10000				10000	10000
合	計							10000				10000	10000

●支出日記帳 (一年度)

六〇二

月日	口座名	口座帖 数	借入金 ノ返却	預ケ金 ノ引出	出資 ノ準備金	積立金 ノ貯金	貸金ノ 返納	利子	雑収入	合計	支出日記 帖下ノ差
八二	三經									七〇〇	
ク	ク備									三〇〇	
ク	ク經									二五〇	
八	八八村野爲成				一八〇〇〇					一五〇〇〇	
ク	ク備									一〇〇〇	
ク	ク經									一九七五〇	
八	八五太									三六七四五〇	
九	九一三									三六七四五〇	
九	九八五									四八七四五〇	
九	九元十二									四九〇四五〇	
五	五三十八									五三〇四五〇	
三	三三二十一									五三〇四五〇	
三	三八十七									六九〇四五〇	
ク	ク中央銀行									一〇〇〇	
ク	ク八									四二	
ク	ク村野爲成									一五〇	
ク	ク三備									一〇〇〇	
合	計									九七四五〇	

●收入日記帳 (二年度)

月日	口座名	口座帖 数	借入金	預ケ金 ノ引出	出資 ノ準備金	積立金 ノ貯金	貸金ノ 返納	利子	雑収入	合計	支出日記 帖下ノ差
一	一三國									二八〇〇〇	
ク	ク中央銀行									六〇〇〇	
ク	ク前									一八二四五〇	
ク	ク三									一〇二四五〇	
ク	ク十									一〇二四五〇	
ク	ク次									二二六四五〇	
三	三元中央銀行									五二六四五〇	
四	四三二十一									一五四五〇	
ク	ク村野爲成									五二四五〇	
四	四三十二									六七八四五〇	
四	四三十三									九四五〇	
六	六四國									七三六四五〇	
八	八五太									四〇〇〇	
ク	ク村野爲成									八九六八四五〇	
九	九三石戸									九六八八四五〇	
九	九元									三三二〇八	
三	三六十九									二六八九六	
合	計									二六八九六	

六〇三

購 (販賣、生産部等)		特別積立金	三〇〇〇〇 三〇〇〇〇	購買(販賣又ハ生産)高壹圓ニ對スル持分ノ割合
氏名	拂込濟出資額	同上ニ對スル持分	購買(販賣)高	同上ニ對スル持分
國尾 思	四〇〇〇〇	四〇二四九	二〇五〇〇	六二五
次 郎	四〇〇〇〇	四〇二四	二〇〇〇〇	六〇〇〇
				一〇〇二四

定款ニヨリ持分ハ特別積立金ニ就テハ購買高ニ應シ其他ノ財産ニ就テハ拂込濟出資額ニ應シ配當スル場合トス

第五、借入金臺帳 (各種ノ組合)

債權者	住所氏名	借入年月日	借入金額	償還期日	何縣何郡何村何番地	産業組合中央銀行殿
		明治何年何月何日	何 圓	明治何年何月何日		

利率	元 金 償 還	利 子 支 拂
	償還年月日 金額 事由	支拂年月日 金額 事由
	何月何日	何月何日

借入金現在表

(本表ハ貸借對照表ニ於ケル借入金高ト符合スヘキコト)

年月日	貸主名	借入金	返却高	現在高	利率	備 考

第六、備品臺帳 (各種ノ組合)

年月日	番 號	摘 要	受 出 計	購入價格	賣却價格	備 考
三九、十一	一 號	何書店ヨリ購入	一	一三〇〇		

、、、、	二號	同	一	二	一〇〇〇	
十、十五	三號	附 何某ヨリ寄	一	三		
十二、一	一號	何某ニ賣却	一	二	一〇〇〇	
三十九年計			二	二	二二〇〇	一〇〇〇
四〇、一、十	四號	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、	、、、、

圖書……見出シ
 一本帳ハ品目毎ニ様式ヲ異ニシ見出シヲ附スヘシ
 一物品賣却代金ハ雜收入トナルヘシ
 一購入價格ノ部ヨリ賣却物ノ原價ヲ扣除シタル計ハ財産目録貸借對照表ニ顯ハル、備品費トナル
 第七、消耗品臺帳 (各種ノ組合)

月	日	摘要	入	出	殘
三	二〇	國尾思ヨリ寄附	一〇〇		一〇〇
六	五	帳簿用トシテ使用		五〇	五〇
一	二	理事太郎ニ渡ス		五〇	〇

美濃紙……見出シ

一本帳ハ左記品目毎ニ一枚又ハ半枚ノ口座ヲ設ケ見出シヲ附スヘシ
 筆、墨、美濃紙、半紙、卷紙、印紙、端書等

第八、貸付金臺帳 (信用組合)

債務者住所氏名	番	號	貸付年月日	利率	元	金	回	收	子	收	入	山	用途		擔保人	擔保額	種類
													農具購入	何々々			
			卅九年八月一日	九分									償還期限	三十九年十二月			
													貸付金ノ種類	月賦又ハ定期			

貸付金現在表 (貸付金臺帳ノ終尾ニ附ス)

本表ノ計ハ貸借對照表ニ於ケル貸付金高ト符合スヘキコト
 事業報告書ニ於ケル件數、金高等ハ凡テ本表ヨリ作製スヘヤコト

年月日	氏名	貸付高	返納高	現在高	利率	擔保ノ種類	用途	種類
						保證	肥料	月賦

第九、貯金臺帳

(信用組合利子ハ預入ノ翌月ヨリ計算ス)

年月日	摘要	預入高	拂戻高	現在高	利子ラ附ス ヘキ金額	月(日)數	利子額
六月一日	利子元 金繰入	一〇〇〇		二〇〇〇	二〇〇〇	五	一三〇
七月十日	預入	二〇〇〇		二三〇〇	二二〇〇	四	
イ・……索引							

組合員氏
名ニ依リ
イシハ別
ニシテ引
クヘシ置

第十、受入帳

(販賣組合)

月日	氏名	數量	代價	加工料 (又ハ手 敷料)	品等	假渡金	利子	備考
何月何日	何某	何百貫	五〇〇〇	一〇〇〇	一等			何月何日皆濟

本帳ハ物
品毎ニ口
座ヲ設ケ
見出シテ
附スヘシ

何品……見出シ

月計表

(受入帳簿終尾ニ附ス)

累計	月計		品名	數量	代價	加工料	假渡金	利子	備考
	何々	何々							

第十一、販賣帳

(販賣組合)

月日	賣先	品等	數量	代價	未收代價	利子	備考
何月何日	何某	二等品	何十貫				何月何日皆濟
何月何日	何店	一等品		一〇〇〇			

一品毎ニ
口座ヲ設
ケ見出シ
テ附スヘ
シ

何品……見出シ

月計表

(販賣帳終尾ニ附ス)

月計	品名	品等	數量	重代	價	未收代價	利子
何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々	何々

第十二、購買帳 (購買組合)

累計	月日	購買先	數量	原價	單價	賣(市)價	未拂代價	利子	備考
	何月何日	中央媒介所	一〇〇						
									現金何月何日支拂
									半額何月何日支拂
									額懸何月拂利率月一分

原價トハ仕入價格ト購入ニ要セシ運賃手数料ヲ合計シタルモノニシテ之ヲ數量ニ依テ除シタルモノヲ單價ト爲ス、市價ニ依ル場合ニハ市價單價ヲ記入スヘシ
 品等アル物ナレハ品等ノ一欄ヲ設クヘシ
 月計表 (購買帳終尾ニ附ス)

累計	月計	品名	數量	原價	價	未拂代價	利子	備考
		大豆粕	、	、	、			現金拂
		石油	、	、	、			利率月一分
		食鹽	、	、	、			

第十三、賣却帳 (購買組合)

月日	氏名	數量	代價	價事	由利子	備考
何月何日	何某					
何月何日	何某			代借延期何ケ 月利率何程		何月何日皆納
何月何日	何某			豫納金何圓		何月何日皆納

第十四、加工帳 (生產組合)

月計	品名	數量	代價	豫納金	豫納金利子	未收入代價	延納利子
累計							

第十四、加工帳 (生產組合)

受入月日	品名	數量	返付月日	加工料	加工料收入月日	組合員氏名	備考

第二年第收支決算表

事由	借入金	預け金	出資	準備金	積立金	備品	貯金	貸金	利子	俸給旅費 雑收支	前年度 現金	合計
収入	400,000	100,000	1,200,000	0	1,100	—	5,500	1,000,000	8,850	—	3,600	1,899,950
支出	400,000	55,000	6,000	—	—	8,500	—	1,150,000	17,950	1,100	—	1,846,550
収入超過	—	—	1,145,000	0	1,100	—	5,500	—	7,900	—	3,600	18,100
支出超過	—	—	—	—	—	8,500	—	150,000	—	1,100	—	161,600
今年度収入	400,000	100,000	1,200,000	0	1,100	—	5,500	1,000,000	8,850	—	—	2,615,450
前年度収入	—	—	—	—	1,000	—	—	—	—	—	—	1,000
計△	400,000	100,000	1,200,000	0	1,100	—	5,500	1,000,000	8,850	—	—	3,615,450
今年度支出	400,000	55,000	6,000	—	—	8,500	—	1,150,000	17,950	—	—	1,637,450
前年度支出	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計△	400,000	55,000	6,000	—	—	8,500	—	1,150,000	17,950	—	—	1,645,950
収入超過	—	—	1,145,000	0	1,100	—	5,500	—	7,900	—	—	18,100
支出超過	—	—	—	—	—	8,500	—	150,000	—	1,100	—	161,600
借入金	400,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400,000
預け金	—	100,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100,000
出資	—	—	1,200,000	—	—	—	—	—	—	—	—	1,200,000
準備金	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0
積立金	—	—	—	0	1,100	—	—	—	—	—	—	1,100
備品	—	—	—	—	—	8,500	—	—	—	—	—	8,500
貯金	—	—	—	—	—	—	5,500	—	—	—	—	5,500
貸金	—	—	—	—	—	—	—	1,000,000	—	—	—	1,000,000
利子	—	—	—	—	—	—	—	—	8,850	—	—	8,850
俸給旅費 雑收支	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,600	3,600
前年度 現金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,600	3,600
合計	400,000	100,000	1,200,000	0	1,100	—	5,500	1,000,000	8,850	—	3,600	2,615,450
借入金	400,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	400,000
預け金	—	100,000	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100,000
出資	—	—	1,200,000	—	—	—	—	—	—	—	—	1,200,000
準備金	—	—	—	0	—	—	—	—	—	—	—	0
積立金	—	—	—	0	1,100	—	—	—	—	—	—	1,100
備品	—	—	—	—	—	8,500	—	—	—	—	—	8,500
貯金	—	—	—	—	—	—	5,500	—	—	—	—	5,500
貸金	—	—	—	—	—	—	—	1,000,000	—	—	—	1,000,000
利子	—	—	—	—	—	—	—	—	8,850	—	—	8,850
俸給旅費 雑收支	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,600	3,600
前年度 現金	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3,600	3,600
合計	400,000	100,000	1,200,000	0	1,100	—	5,500	1,000,000	8,850	—	3,600	2,615,450

△ハ朱書ヲ示ス

以上ハ信用組合ニ就テ例證シタリ、其ノ他ノ組合ニ就テモ亦同シ、日記帳、口座帳ニ於ケル記入方法ニシテ誤ナクンハ各欄ノ收支ハ各帳簿ニ於ケル計算ト相符合スヘク、決算モ亦自然ノ結果トシテ生スルナリ、毎月末ニ合計ヲ爲シ置キ六月末ニハ六ヶ月ノ累計ヲ出シ理事立會檢印ヲ捺押スヘシ、勘定用紙モ亦印刷ニ附シ置シヘシ、組合ノ會計ヲ檢査セント欲スル者ハ何時ニテモ其ノ用紙ヲ取り來リ、日記帳、口座帳ヨリ相當欄ヲ記入シ收支ヲ檢シ、之ヲ各補助簿ト對照シ誤算ナクンハ記帳計算共ニ正確ナリ、日記帳ト口座帳ノ各反對欄ノ合計符合シ處務日誌ト日記帳ト相當スヘキコト亦言ヲ待タサルナリ

此記帳法ハ簡明ニシテ檢査ニ便ナルヲ以テ獨乙ニ於テ流行シツ、アリ

最後ニ前例ニ於ケル組合ノ各事業年度末ニ於ケル財産目録、貸借對照表ヲ掲ケ實地研究者ノ爲ニ便セン

第五、財産目録、貸借對照表ノ實例

第一年度財産目録

未拂込出資金	九六〇,〇〇〇
貸付金(證文三通)	一五〇,〇〇〇
預金	一〇〇,〇〇〇
備品	六,〇〇〇
金銀	三,六二〇
未收入利子	—
貯金	三四,六一二
借入金	—

理事必携終

貸借對照表	
貸方	借方
未拂込出資金	出資金
貸付金	貯蓄金
預け金	準備金
備品	積立金
金銭	未收利子
未收利子	剩餘金
前年度損失金	合計
合計	

九六六,〇〇〇	一,三八〇,〇〇〇
三〇〇,〇〇〇	一〇〇,二〇二
二五五,〇〇〇	〇,〇二〇
一四,五〇〇	二,二〇〇
七,二九九	六六,三六九
五,九九二	
一,五四八,七九一	一,五四八,七九一

貸借對照表	
貸方	借方
未拂込出資金	出資金
貸付金	貯蓄金
預け金	準備金
未收入利子	積立金
備品	未收利子
金銀	剩餘金
損失	合計
合計	

第二年度財産目録	
未拂濟出資金高	借方
準備金	出資金
積立金	貯蓄金
貸付金	準備金
預け金	積立金
前年度損失金	未收利子
未收入利子	剩餘金
未收入金	合計
借入金	

九六六,〇〇〇	一,二〇〇,〇〇〇
〇,〇二〇	三四六,一一二
二,二〇〇	一,〇〇〇
三〇〇,〇〇〇	
二五五,〇〇〇	
七,二九九	
五,九九二	
一〇〇,二〇二	一,三三五,六一二

計	沖繩	鹿兒島	宮崎	熊本	佐賀	大分	福岡	高知	愛媛	香川	徳島	和歌山	山口	廣島	岡山	島根	鳥取	富山	石川	福井	秋田	山形	青森	岩手	福島
一九二二	一五	四	四七	九	五	一六	四七	六	三三	二八	四	一一	二七	四二	三五	九	三八	三七	二六	一三	二六	五一	五五	九九	九〇
一九二七	一	三	五	一	二	三	四	四	一	五	四	三	五	一〇	八	一	二	七	三	三	三	五	二	二	二
二七五五	七	四	五	一	三	一	六	一	〇	二	六	一	八	一	九	八	二	三	一	八	四	三	七	一	九
六三四四	九	五	二	四	一	五	七	二	七	四	六	八	一	七	五	三	〇	一	八	二	一	九	三	七	二
〇一七	七	二	二	一	三	一	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
二一〇	四	一	三	六	二	五	一	九	一	七	一	七	一	三	七	六	四	八	三	五	八	九	六	六	六
三〇七六	一	一	六	九	四	三	一	〇	六	四	四	三	九	二	二	二	一	三	一	三	八	九	〇	一	七
一〇六四五	一	一	三	四	五	二	三	四	二	三	四	二	八	六	一	二	四	三	三	一	五	四	四	一	六
四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
一九三四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
五四四	三	八	四	二	六	一	〇	一	二	八	二	八	二	一	〇	九	二	四	四	一	三	一	三	四	二
三八	三	八	四	二	六	一	〇	一	二	八	二	八	二	一	〇	九	二	四	四	一	三	一	三	四	二

地方別	信	川	販	業	組	合	數	一	覽	明治四十二年十月末日現在
宮城	四二	二八	二八	一九	四九	四六	二五	一七	二	七
長野	二八	二八	一九	四九	四六	二五	一七	二	七	七
岐賀	二八	二八	一九	四九	四六	二五	一七	二	七	二
山梨	四九	四六	二五	一七	二	七	二	七	二	二
静岡	四六	二五	一七	二	七	二	七	二	七	二
愛知	二五	一七	二	七	二	七	二	七	二	二
三重	一九	四七	五五	六三	五五	四〇	一五	八七	一五	四
奈良	四七	五五	六三	五五	四〇	一五	八七	一五	四	一
栃木	五五	六三	五五	四〇	一五	八七	一五	四	一	一
茨城	六三	五五	四〇	一五	八七	一五	四	一	一	一
千葉	五五	四〇	一五	八七	一五	四	一	一	一	一
群馬	四〇	一五	八七	一五	四	一	一	一	一	一
埼玉	一五	八七	一五	四	一	一	一	一	一	一
新潟	二一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
長崎	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一	一
兵庫	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
神奈川	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
大阪	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
京都	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
東京	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
北海道	一一	一〇	九	八	六	一	〇	一	一	一
計	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一

考 備	年 次	組 合 總 數	農 務 局 主 管 數	商 務 局 主 管 數	工 務 局 主 管 數	水 產 局 主 管 數	山 林 局 主 管 數
	明 治 四 十 一 年 未 現 在	三、三三四	三、一二五	一、五八	—	四、一	—
	明 治 四 十 一 年 未 現 在	四、三四四	四、一八〇	一、八八	—	四、五	—
	明 治 四 十 二 年 九 月 未 現 在	五、三八六	五、一三四	三、〇	一、七一	四、一	—
	明 治 四 十 二 年 十 月 未 現 在	五、四五四	五、二〇〇	三、〇	一、七三	四、〇	—

產業組合大全大尾

明治四十年十月十日初版發行
 明治四十一年七月十五日再版發行
 明治四十二年十二月廿三日印刷
 明治四十四年十一月三日版發行



著 者 兼 發 行 者
 印 刷 者
 印 刷 所

東京府南葛飾郡向島寺島村千二百三十五番地
 西 垣 恒 矩
 東京市京橋區木挽町二丁目十三番地
 佐 藤 保 太 郎
 東京市京橋區木挽町二丁目十三番地
 中 屋 商 店 活 版 部

小包料拾貳錢
 定價壹圓五拾錢

發 行 所
 發 賣 所

東京市本所區向須崎町
 東京園藝株式會社
 東京市赤坂區溜池
 振替貯金口座五二八五
 東京市日本橋區鐵砲町三番地
 振替貯金番號一九一九
 東京市日本橋區箱屋町十四番地
 振替貯金番號一二五〇
 東京市日本橋區箱屋町十四番地
 振替貯金番號五八九二

丸 山 舍 書 籍 部



英獨留學中農學士西垣恒矩著

蠶糸業ト産業組合

定價五十錢
郵稅四錢

- 第一章 本邦農家ノ經濟狀態ト副業
- 第二章 蠶糸業ニ關スル經濟的調査
 - 第一節 養蠶業ノ收支計算
 - 第二節 製糸業ノ收支計算
- 第三章 本邦並世界ニ於ケル蠶糸業ノ大勢
 - 日本養蠶製糸ニ關スル累年統計比較表
 - 世界各國生糸需要高累年對照表
 - 世界ニ於ケル生糸ノ大勢
 - 一、生糸價格下落ノ大勢
 - 二、生糸需給ノ關係
 - 三、座繰製糸ト器械製糸トノ消長
 - 四、人造絹糸トノ競爭
- 第四章 貿易品トシテ生糸ノ性質
- 第五章 蠶糸業經營法ノ欠點及改良法
 - 第一節 從前ノ經營法
 - 第二節 改良法
 - 第三節 兩法ノ比較
- 第六章 蠶糸業ニ應用セラル、産業組合ノ種類
- 第七章 實例
 - 長野縣松代町販賣組合製糸改良組
 - 同 小縣郡蠶糸販賣組合有誠社
 - 群馬縣碓氷、甘樂、下仁田社
- 第八章 結論
- 附錄 産業組合(蠶糸業ニ關スル)模範定款

發賣所 向島須崎町

東京園藝株式會社

農學士 西垣恒矩著

養鶏業ト共同經營

定價二十四錢郵稅共

- (養鶏業ニ於ケル産業組合ノ利益)
- 第一章 本邦養鶏業ノ現在及將來
- 第二章 養鶏業ノ種類
- 第三章 副業的養鶏業ノ經濟
- 第四章 輸入卵ト本邦産卵トノ經濟的比較
- 第五章 養鶏業不振ノ原因及其改良策
 - 第一、技術上ノ欠點
 - 第二、經濟上ノ欠點
 - 第三、改良策
- 第六章 歐洲ニ於ケル共同經營ノ實例
 - 第一、丁抹鶏卵共同輸出組合定款並支部定款
 - 第二、英國集卵組合ノ管理法
 - 第三、愛蘭士家禽組合ニ關スル事項
- 第七章 共同經營ノ組織
 - 第一、家禽業ニ關スル産業組合模範定款共同組織ノ獎勵及業務聯絡機關附東京市著名ノ鶏肉及卵問屋
 - 第二、小丁抹ノ名アル安藝ノ養鶏所一模範トスベキ副業的養鶏組合及其規約一千葉縣養鶏業ニ關スル調査
- 附錄

發賣所

東京園藝株式會社

農學士 西垣恒矩著

園藝業ト産業組合

定價金四十錢郵稅四錢

- 第一章 園藝業ノ意義
- 第二章 農家ノ經濟ト園藝業
- 第三章 園藝業ノ現在及將來
- 第四章 園藝業ノ收支計算
- 第五章 園藝業ニ應用セラル、産業組合ノ種類
 - 第一節 蔬菜及花卉ヲ業トスル園藝
 - 第二節 果物種苗ヲ業トスル園藝
 - 第三節 結論
- 第六章 實例
 - 第一、デレワヤ果物蔬菜市場一キヤリホルニヤ果物組合一ハムモントン果物販賣購買組合一ヒヤフオールト果物選外組合
 - 第二、組合業務聯絡機關及園藝作物輸出方法ノ改良策
- 第七章 組合業務聯絡機關
 - 第一節 組合業務聯絡機關
 - 第二節 輸出園藝作物共同販賣市場ノ新設
 - 第三節 輸出園藝作物共同販賣市場ノ新設
- 附錄 靜岡縣庵原販賣購買組合事業經營法及定款

注 意

一此ノ券ハ他ヘ質入書入スルモ其ノ効力ナシ
 一此ノ券ノ讓渡ハ産業組合法及當組合法ノ規定ニ據ルニアラザレバ其ノ効力ナシ

讓渡承認 年 月 日	讓渡人氏名印	讓受人氏名印	組合長氏名印
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			
明治 年 月 日			

組合員の心得

- 一、教育勸語及戊申詔書ノ 聖旨ヲ奉體シ且違背ハスルコトヲ期スルコト
- 二、組合ノ事業ハ自己ノ事業ナリトシ其ノ觀念ヲ深く保持シ苟クモ定款其他ノ規約ニ 違背セザルコト
- 三、組合ノ事業ニ依リ需要ヲ満たシ得ル事項ニ付テハ力メテ組合ヲ利用スルコト
- 四、衆議ニハ快ク服従シ組合員協力補助ノ精神ヲ保持スルコト(全國産業組合大會ノ決議)

260
614

